

2025年1月10日

Oncofertility Consortium Japan

2024年度全国ワークショップ

先行事例紹介：愛知県

都市型がん・生殖医療ネットワークの課題と展望：

愛知県がん・生殖医療ネットワーク（SOFIA）の取り組み

名古屋大学医学部附属病院 産婦人科

三宅菜月



A g e n d a

1. 愛知県におけるがん・生殖医療の現状
2. 愛知県と東海北陸地方のネットワーク
3. 当院の現状
4. 今後の課題と取り組み

01

愛知県における
がん・生殖医療の現状

事例紹介①



名大病院通院歴なし

A病院で脳腫瘍の治療を受ける予定です。
名大病院で精子凍結はできますか？

主治医の先生からは「自分で調べて行ってきて」と言われました。

分かりました。
主治医の先生に相談してみます。

当院で精子凍結可能ですよ。
主治医の先生の紹介が必要なので相談してみてください。
名大病院のHPに受診の流れが書いてあります。

主治医やがん相談支援センターなどから十分な支援が受けられていないのでは…??

その後、患者や主治医からの連絡は無く、
当院を受診されることはなかった。

- ・主治医に伝えられなかった？
- ・伝えたが紹介してもらえなかった？
- ・他院を受診した？

名大病院



妊孕性温存療法を希望するすべての患者に対して適切な情報提供が必要
…がん診療の現場において、十分に浸透していない可能性

愛知県

人口：7,465,813人（2024年11月1日現在）

※全国4位（令和2年国勢調査）

面積：5,116.22 km²（全国27位）

県庁所在地：名古屋市（愛知県の人口の約3割が集中）

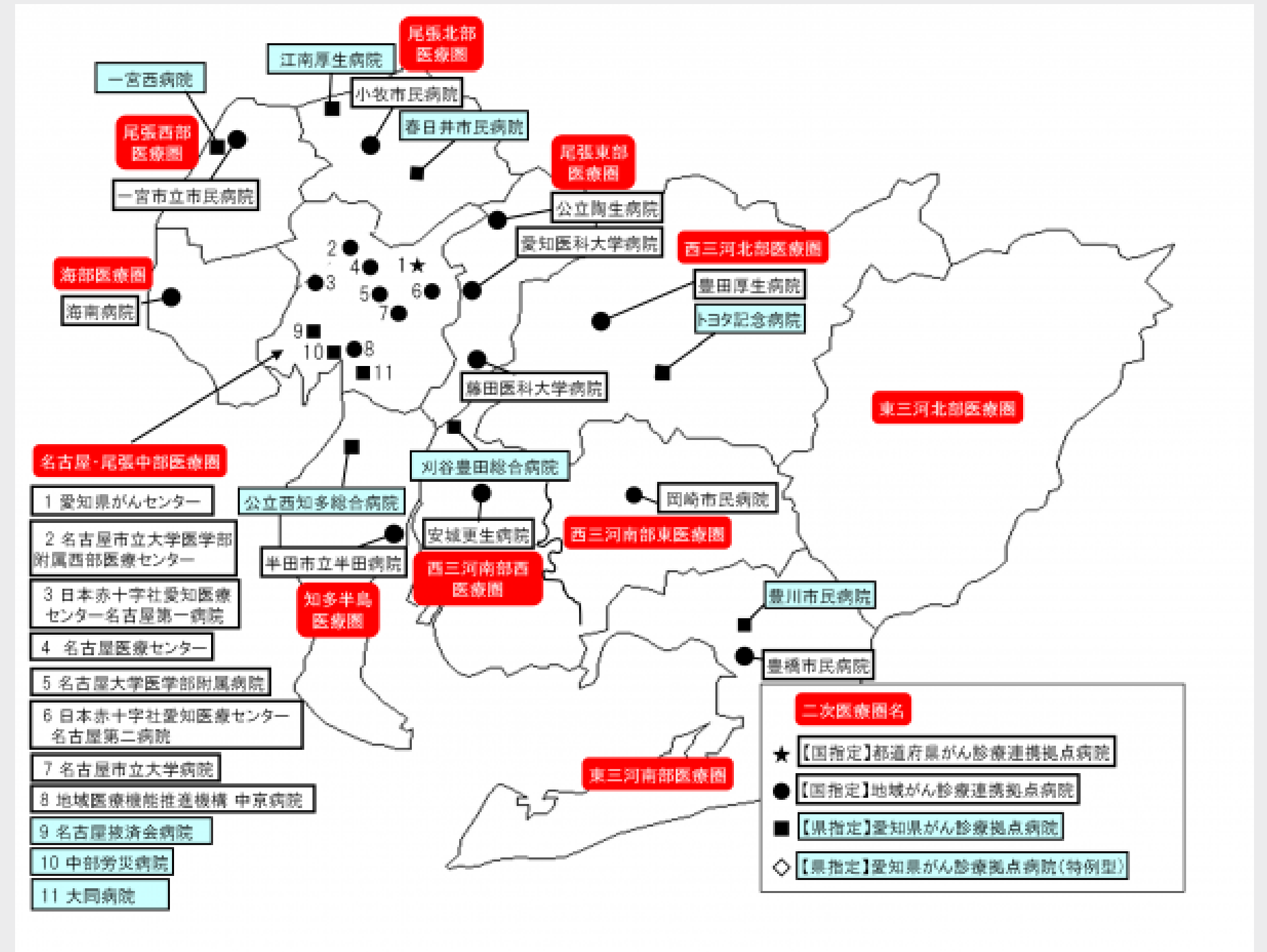


 **TOYOTA**



愛知県のがん診療

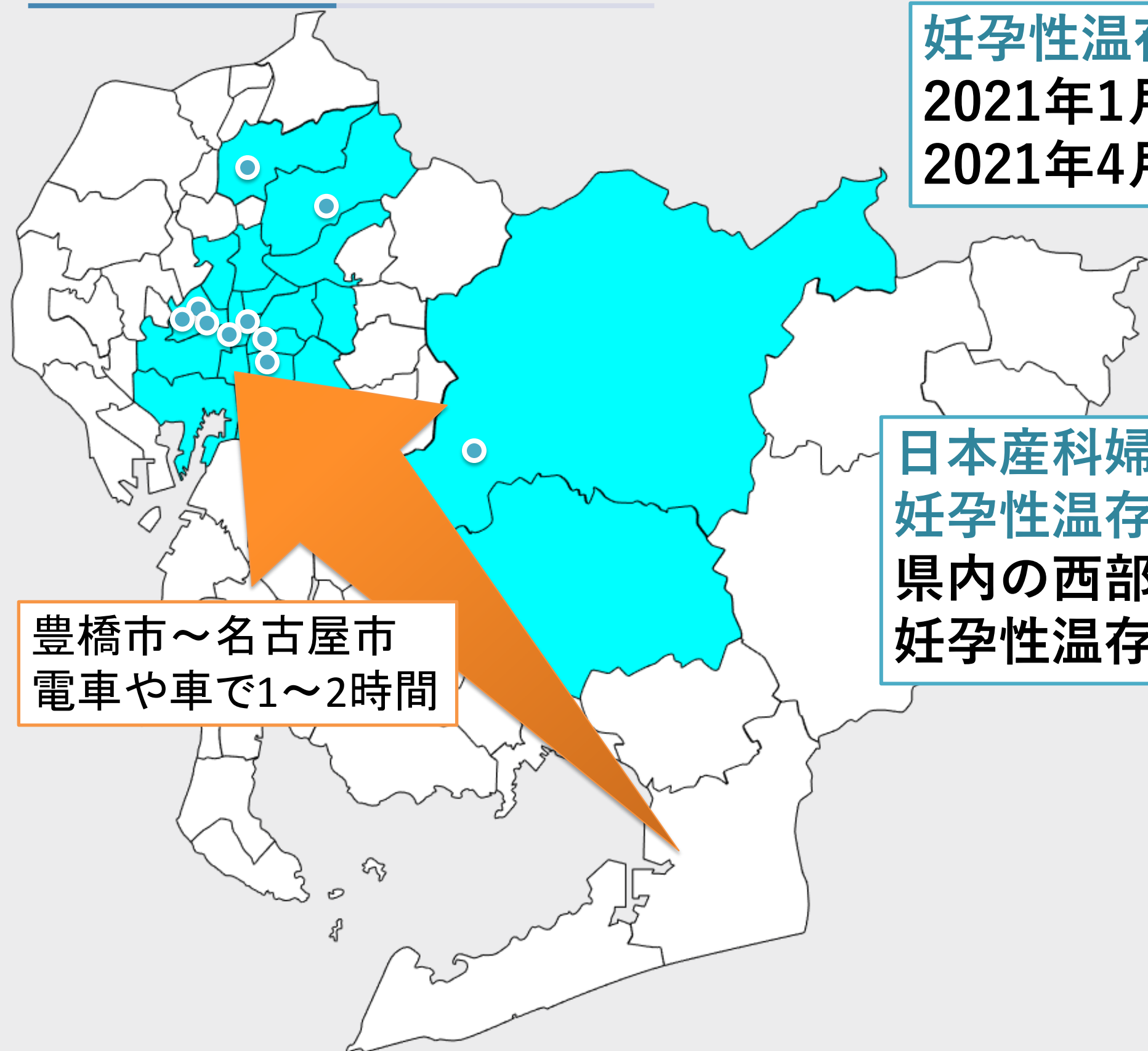
厚生労働大臣指定がん診療連携拠点病院	19施設
愛知県知事指定がん診療拠点病院	10施設
医学部を有する大学	4大学



がん・生殖医療ネットワーク形成の遅れ

- ✓ がん診療拠点病院、大学病院が多く、情報共有や統率が困難
- ✓ 妊孕性温存後のがん治療が遅れたり、妊孕性温存の機会が失われたりする懸念

愛知県のがん・生殖医療（生殖）



妊孕性温存の費用助成
2021年1月～ 名古屋市
2021年4月～ 全国（愛知県含む）

日本産科婦人科学会
妊孕性温存療法実施医療機関（検体保存機関）
県内の西部に集中
妊孕性温存のための受診ががん患者にとっての負担

豊橋市～名古屋市
電車や車で1～2時間

02

愛知県と東海北陸地方 のネットワーク

愛知県がん・生殖医療ネットワーク

Society of Oncofertility in Aichi (SOFIA)

- ✓ 2020年9月発足
- ✓ がん・生殖医療を希望する患者への適切な情報提供と、医療施設間および医療施設—行政間の連携を目指す
- ✓ 事務局 名古屋大学



SOFIAの活動

- ✓ メーリングリストによる情報共有
(講演会、助成制度、生殖医療施設からの連絡など)
- ✓ 講演会 (年1回)
- ✓ 会員数139名
 - ・ がん治療施設：41施設
(うち乳腺クリニック11施設)
 - ・ 妊孕性温存療法実施機関：9施設
 - ・ 行政 (愛知県、名古屋市)

2025年1月7日現在



あいちがん生殖医療セミナー ～第3回SOFIA Web Meeting～

謹啓

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記要領にて「あいちがん生殖医療セミナー～第3回SOFIA Web Meeting～」を開催する運びとなりました。本会は、愛知県内のがん・生殖医療の充実と発展を目的とし、web配信にてがん患者の妊孕性温存に関する情報提供を予定しております。がん・生殖医療に関わる医療従事者の皆様にご参加いただけますと幸いです。

謹白

日時：2023年 **11月22日(水)** 18:30～20:40

形式：ZOOM配信 (事前登録をお願いいたします。)

視聴用URLをご登録いただいたメールアドレスへ送付いたします。

個人情報はURL送信のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。

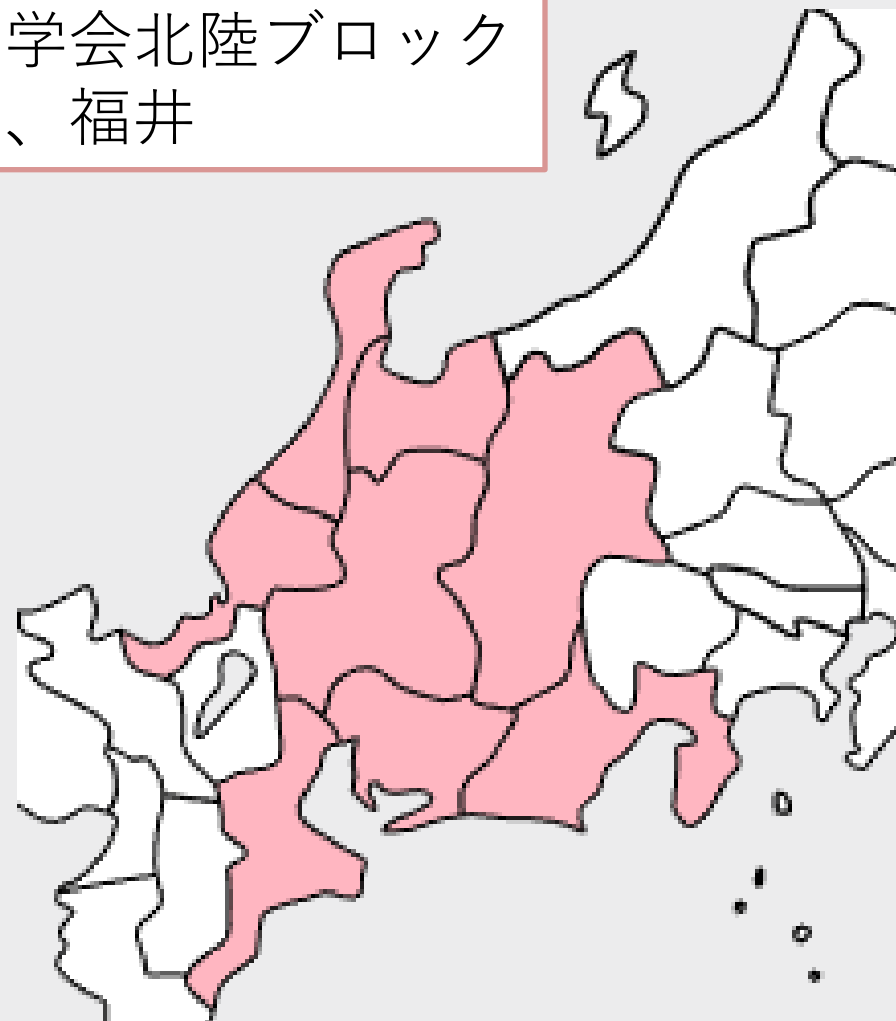


18:30	《 Opening Remarks 》 SOFIA事務局 岡崎市民病院 産婦人科 統括部長 後藤 真紀 先生
18:40	《 教育講演 》 座長：名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 病院助教 高野 悠子 先生 『 当院におけるAYA支援チームの立ち上げの取り組み 』 演者：名古屋大学医学部附属病院 産婦人科 助教 清水 裕介 先生
19:10	《 特別講演 》 座長：名古屋大学医学部附属病院 産婦人科 教授 梶山 広明 先生 『 妊孕性温存とがん・生殖連携 』 演者：聖路加国際病院 腫瘍内科 副医長 北野 敦子 先生 『 がん・生殖医療連携における看護師の役割 』 演者：国立がん研究センター中央病院 看護部 稲村 直子 先生
20:30	《 Closing Remarks 》 名古屋大学医学部附属病院 小児科 教授 高橋 義行 先生

共催：愛知県がん・生殖医療ネットワーク (SOFIA) , 中外製薬株式会社(愛知県がん対策推進連携企業)

東海北陸若手がん・生殖医療セミナー

日本生殖医学会北陸ブロック
富山、石川、福井



日本生殖医学会中部ブロック
長野、岐阜、静岡、愛知、三重

- ✓2020年発足
- ✓大学＋市中病院の若手～中堅医師が実行委員
(教授クラスの先生方にはスーパーバイザーとして参加)
- ✓年1回のセミナー
- ✓月1回のweb会議 (セミナーの企画、症例の相談など)

回	年	主幹	会場	テーマ
1	2020	名古屋大・岐阜大・三重大	日赤名古屋第一病院 (ハイブリッド)	乳がん
2	2021	岐阜大	岐阜大学 (ハイブリッド)	血液腫瘍
3	2022	三重大	三重大学 (ハイブリッド)	小児がん
4	2023	名古屋大	名古屋大学 (現地のみ)	婦人科腫瘍
5	2024	富山大・金沢大・福井大	富山県立中央病院 (ハイブリッド)	男性の妊孕性温存
6 (予定)	2025	名古屋市立大		

東海北陸若手がん・生殖医療セミナー

第4回 (2023年)

第4回 東海北陸若手がん・生殖セミナー

『卵巢腫瘍』と『妊孕性温存』

卵巢腫瘍の妊孕性温存、実践と最新知見をまなぶ!

■ 2023年10月15日 (日) 13:30~16:00
■ 名古屋大学 鶴舞キャンパス 基礎研究棟 (講義棟) 4階講義室 (現地開催のみ)

参加無料

第1部 ミニレクチャー・ワークショップ

座長：伊東 雅美 (富山大学)、三宅 菜月 (名古屋大学)

- AYA世代卵巢癌患者の予後因子の検討: 傾向スコアマッチングを用いた後方視的多施設共同研究
宮本 絵美里 (名古屋大学)
- 不妊治療中に卵巢明細胞癌を発症し妊孕性温存療法を行った一例
草間 友理 (富山県立中央病院)
- 摘出卵巢から採卵を行った二例
樋口 正太郎 (徳川大学)
- 再発卵巢未熟奇形腫の患者の意思決定と学児への思い
釣頼 咲希 (岐阜大学)
- 小児の卵巢組織凍結
前沢 忠志 (三重大学)

第2部 特別講演

座長：大須賀 智子 (名古屋大学産婦人科 准教授)

「卵巢腫瘍の卵巢組織凍結」

演者：堀江 昭史 先生 京都大学医学部婦人科産科学教室 講師

事前参加登録はこちら
<https://forms.gle/XRBaMxhGnQnQuN8>

※切9/30! 当日参加も歓迎!

主催：東海北陸若手がん・生殖ネットワーク
お問い合わせ：tokhokTOFsemi@gmail.com (代表)



第5回 (2024年)

第5回 東海北陸若手がん・生殖セミナー

2024年度富山県がん生殖医療ネットワーク推進研修会

『男性の妊孕性温存』

会場：富山県立中央病院 5階ホール
参加費用：無料

日時
10.27 (日)
13:30~16:00
ハイブリッド開催

特別講演者
SRHケアクリニック静岡 院長 今井 伸 先生

プログラム

第一部 ミニレクチャー・ワークショップ

未精過思春期男性へのがん生殖医療カウンセリングについて
富山大学附属病院 産婦人科 がん看護専門看護師 樋口 麻衣子 氏

当院における男性の妊孕性温存治療について
名古屋大学 産婦人科 伴野 千尋 先生

多発性骨髄腫の治療中に精子凍結保存、体外受精・移植を行った1例
三重大学 産婦人科 西岡 美喜子 先生

Onco-TESEを行った異時性両側精巣腫瘍の2例
富山県立病院泌尿器科 飯島 将司 先生

精子でMieapの発現がdown-regulationすると体外受精で胚発育が停止する
徳川大学 産婦人科 折坂 誠 先生

第二部 特別講演
座長：折坂 誠 先生

『がん生殖外来立ち上げ苦労話～聖隷浜松病院編～』

SRHケアクリニック静岡・院長 (泌尿器科医)今井 伸先生

お申し込み：下記URLかQRコードよりお申し込みください
<https://forms.gle/xeAKEFfxjNXdlGrh9>

富山地方鉄道電車ご利用の場合
富山駅→栄町駅 約5分
栄町駅から徒歩 約5分

富山地方鉄道バスご利用の場合
富山駅前停留所8番「中央病院」行
所要時間約20分

応募締め切り 10/23 (水)
当日参加も歓迎!

主催：富山大学附属病院 共催：東海北陸がん・生殖医療ネットワーク、富山県、次世代北信がんプロ
問い合わせ：株式会社Asian Bridge 金沢LAB: 076-260-4233、富山大学産婦人科: 076-434-7357

参加者
155名 (現地・Web)
・医師 (腫瘍、生殖)
・看護師
・心理士
・胚培養士 など



事例紹介②このような活動の効果か…

小児科Dr



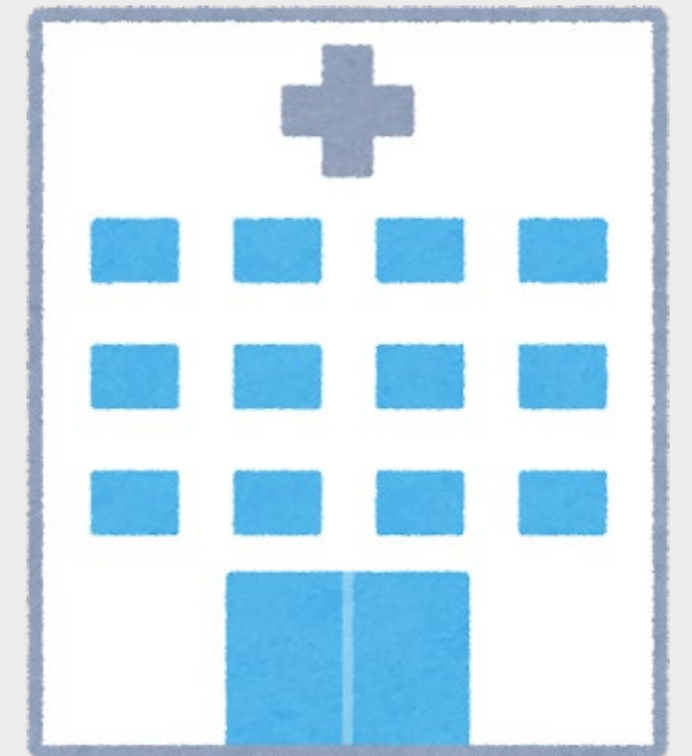
12歳女兒の卵巣組織凍結をお願いしたいです。
当院産婦人科の先生に相談したところ、名古屋大学の三宅先生に連絡するように教えてもらいました。



B病院



患者さんの状況や、手術可能な日程を教えてください。



名大病院

事例紹介③ 愛知県内に限らず

県内で卵巣組織凍結ができません。
近隣の県で卵巣組織凍結が可能な
病院をご存じですか？

D県のD病院
E県のE病院
愛知県の名古屋大学
などがあります

D病院の先生から教えてもらいました。
名大病院でお願いできますか？

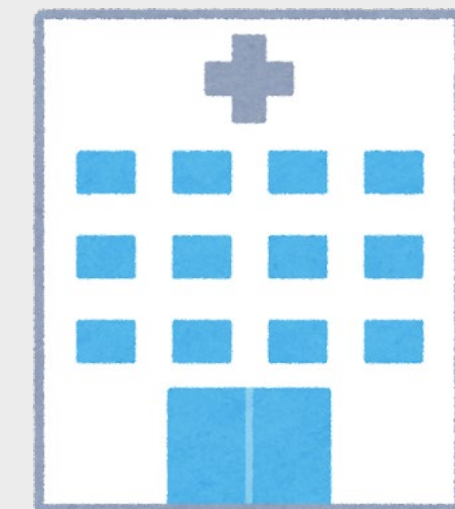
- ✓ がん・生殖医療においては紹介前～妊孕性温存後におよぶ情報の共有が重要
- ✓ 紹介前の連絡がスムーズになりつつある



C県C病院



D県D病院



名大病院

03

当院の現状



ご来院の皆様

診療科・部門

病院概要

交通アクセス

ご来院の皆様



もどる

ホーム > ご来院の皆様 > 外来のご案内 > がん・生殖医療相談外来について

がん・生殖医療相談外来

がん・生殖医療相談外来（完全予約制）のご案内

1. がん・生殖医療相談外来とは

近年のがん診療の進歩に伴い、若年がんサイバパー数も増加し、QOL向上のための妊孕性温存を主軸としたがん生殖医療の重要性が広く認識されつつあります。愛知県内においても一部の施設において、がん治療前の妊孕性温存や治療後の若年がん患者に対する卵巣機能フォローアップを含めた包括的ながん生殖医療が提供されつつありますが、全ての若年がん患者に対して十分な支援体制が整備されているとは言い難い状況です。名大病院では医学的適応による卵子凍結保存・卵巣組織凍結保存・精子凍結保存などの妊孕性温存治療を実施しておりますが、最も適した方法を選択するにあたっては、がんの種類、がんの進行の程度、選択される治療方法、治療の開始時期、現在の年齢、配偶者の有無などの要素を加味して検討する必要があります。これまで一般外来にて受け入れを行っていましたが、患者の自己決定権、それを支える十分な情報提供を行うためには時間的制約が大きく、この度専門外来を設置することと致しました。生殖医療専門医を中心として対応して参ります。

がん・生殖医療相談外来は、自由診療で行いますので健康保険は使用できません。
火曜日 13時以降 ※ 緊急を要する場合は別日対応も可能です。
1時間まで 10,000円（税別）
以降 30分経過ごとに 5,000円（税別）を追加
（名古屋市在住の方が市へ助成金申請する場合は、証明書文書料として3,000円（税別）も必要です。）

4. 相談までの手順

(1) 患者さんご本人もしくはご家族から、「がん・生殖医療相談外来申込書」を病診連携受付宛にFAX（052-744-2803）あるいは郵送でお送りください。ご家族のみのご相談は、「同意書」も併せてお送りください。「申込書」および「同意書」は下記からプリントアウトが可能です。プリントアウトが不可能な場合は当院より申込書をお送りいたします。

- [「がん・生殖医療相談外来申込書」](#)
- [「がん・生殖医療相談外来申込書」](#)
- [「がん・生殖に医療相談外来同意書」](#)

(2) 「がん・生殖医療相談外来申込書」に基づき、当院産婦人科において、相談の可否、可の場合は相談日を決定し、病診連携受付からご連絡します。

(3) 主治医の先生に「がん・生殖医療相談外来専用診療情報提供書」（JSFP<日本がん・生殖医療学会>がん治療の情報提供用紙）を依頼しお受け取りください。お手元に「がん・生殖医療相談外来専用診療情報提供書」と「各種検査資料等」が揃いましたら、原則相談日の3日前までに当院にご送付ください（がん治療を行っている医療機関から直接当院にご送付いただいても構いません）。

- [「がん・生殖医療相談外来専用診療情報提供書」](#)
- [「がん・生殖医療相談外来専用診療情報提供書」](#)

(4) 相談当日は、病診連携受付で手続きを行い、産婦人科外来にて相談後、相談費用をお支払いください。

※ 患者さんご本人が名古屋市民で助成金の申請をご希望の場合は、相談後、実施証明書を文書受付窓口にてお申込みください。（実施証明書については、名古屋市役所のホームページよりダウンロードしてください。）

(5) 相談後、主治医の先生への報告書をお渡しします。なお、当日のお渡しが困難な場合は主治医に直接郵送いたします。

がん・生殖医療相談外来専用 診療情報提供書



妊孕性温存療法 対象チェックリスト

- ・妊孕性温存が原疾患の治療の妨げにならない はい いいえ
- ・43歳未満である はい いいえ
- ・下記1)-4)のいずれかに該当する はい いいえ
 - 1)「小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン 2017年版（日本癌治療学会）」の妊孕性低下リスク分類に示された治療のうち、高・中間・低リスクの治療。
 - 2)長期間の治療によって卵巣予備能の低下が想定されるがん疾患：乳がん（ホルモン療法）等。
 - 3)造血幹細胞移植が実施される非がん疾患：再生不良性貧血等。
 - 4)アルキル化剤が投与される非がん疾患：全身性エリテマトーデス等。
- * 上記1つでもいいえの場合には、妊孕性温存療法に対する公的助成制度の対象外となります。
- * 初診料+相談料（自費）が必要となる場合があります。
- * 43歳以上で公的助成制度の対象外でも妊孕性温存療法を実施するかどうかは各医療機関にお問い合わせください。
- * 施設毎に年齢制限があります。名古屋大学医学部附属病院では以下の通りです。
 - 卵子・胚凍結：12歳以上 43歳未満で初経後であること
 - 精子凍結：年齢制限なし
 - 卵巣組織凍結：43歳未満（移植時 18歳以上 50歳未満）
- ・主治医から見た妊孕性温存の推奨程度（推奨 消極的 どちらとも言えない
- ・患者さんの妊孕性温存に対する期待度（積極的 消極的 わからない

対象チェックリスト

患者情報

現時点での情報で分かる範囲内で結構ですので、ご記入願います。

- ・婚姻状況 既婚 未婚 パートナーあり
- ・子どもの数 あり（ ）人 なし
- ・感染症採血（1年以内）:別途結果コピーを添付してください
 - HBV（陰性・陽性） HCV（陰性・陽性）
 - 梅毒（陰性・陽性） HIV（陰性・陽性）
- ・輸血歴 なし あり（最終輸血日： 年 月）
- ・合併症 なし あり（ ）
- ・精神状態で配慮すべきこと なし 不明 あり（ ）

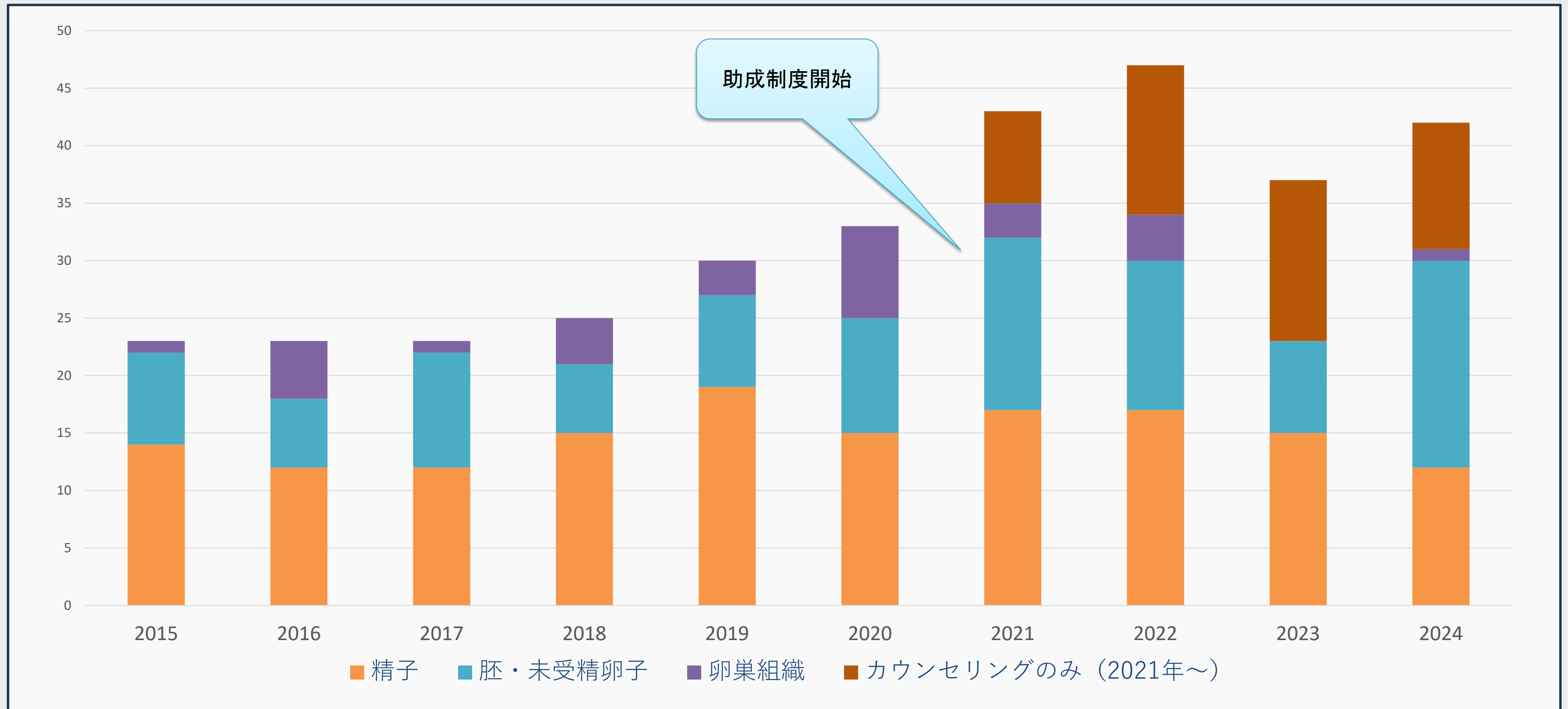
患者情報

原疾患情報

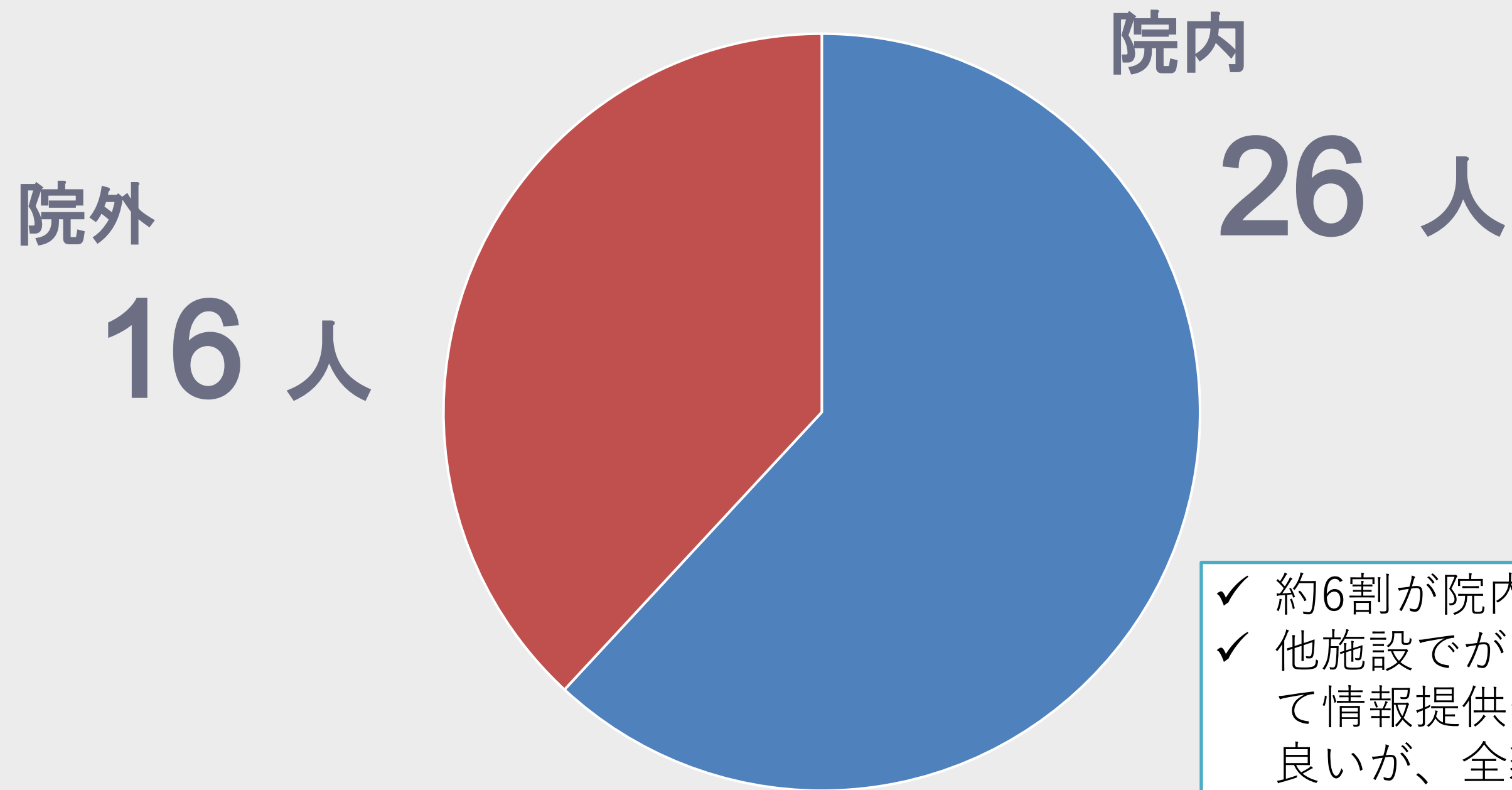
- ・病名（ ） 原疾患情報
 - 初発 再発
 - 乳がんの場合→組織型 luminal HER2 TN luminal-HER2
 - ・診断時期（ ）年（ ）月
 - ・がん進行度（現在判明している範囲内で結構です）
 - 上皮内 限局 所属リンパ節転移 隣接臓器浸潤 遠隔転移
 - 不明 該当なし（血液疾患など）
 - ・原疾患に対する治療（何らかの治療を行なっている、もしくはその予定の場合ご記入下さい）
 - 手術（すでに施行・施行予定）
 - 術式；（ ）
 - 手術日；（ 年 月 日）予定の場合は予定日をご記入下さい。
 - 化学療法（すでに施行・施行予定）
 - レジメン；（ ）
 - クール数；（ ）クール（現在 クール終了）
 - 施行期間（ ）予定の場合は開始予定日をご記入下さい。
- ※複数のレジメンを施行する場合、第1のレジメンが開始されていたら「すでに施行」のみをチェックして下さい。
- 放射線治療（すでに施行・施行予定）
 - 照射部位；（ ）
 - 照射線量；（ ）Gy
 - 施行期間（ ）予定の場合は開始予定日をご記入下さい。
 - 内分泌療法（すでに施行・施行予定）
 - 使用薬剤（ ）
 - 施行期間（ ）予定の場合は開始予定日をご記入下さい。
 - 造血幹細胞移植（すでに施行・施行予定）
 - 自家移植 同種血移植
 - 骨髄移植 末梢血幹細胞移植 臍帯血移植
 - 前処置（ ）
 - 施行日（ 年 月 日）予定の場合は予定日をご記入下さい。
 - その他（ ）

- ・全身状態（妊孕性温存治療が可能な状態か）
 - 良好 不良
- ・予後（生命予後、再発リスク；抽象表現可）（ ）
- ・上記以外に特記すべき治療経過（ ）
- ・妊孕性温存治療が可能な期間：上記の治療スケジュールを
 - 変更可能（遅くとも 年 月 日までに） 変更不可能
- ・治療後に妊娠を検討できるのは（ホルモン療法等の中断を含む）
 - （早くとも 年 月以降） 現時点ではわからない
- ・治療後の妊娠の問題点（ ）
- ・備考：妊孕性温存治療に関し使用薬や外科的処置など特段の配慮を要する場合はあればご記載ください（ ）

がん・生殖医療相談外来受診者数の推移



がん・生殖医療相談外来受診患者の紹介元



- ✓ 約6割が院内での症例
- ✓ 他施設でがん治療を受けている患者が他院にて情報提供や妊孕性温存を受けられていると良いが、全貌は不明

2024年1月～12月

当院での取り組み

- AYA支援チームの発足(2023年)

がん治療医
(外科・内科・小児科)

生殖医療担当医

看護師
臨床心理士・公認心理師
医療ソーシャルワーカー
チャイルドライフスペシャリスト(CLS)

意思決定の場面で全科横断的に介入、サポートできる
環境が整いつつある

当院での取り組み

- 小児がん患者の妊孕性温存

【従来】12歳以上の女児が対象

12歳未満の対象女児は他県の施設で卵巣組織凍結を実施

...身体的、精神的負担大

【2023年秋より】卵巣組織凍結の年齢下限を撤廃

《課題》

- ・小児手術
- ・代理意思決定
- ・入院環境の変化
- ・インフォームドアセント
- ・卵巣組織の処理



多職種、多診療科による連携
三重大学の先生方のご指導

当院での取り組み

第24回 産婦人科内分泌研究会（2024年7月）
名古屋大学産婦人科同門会の先生対象



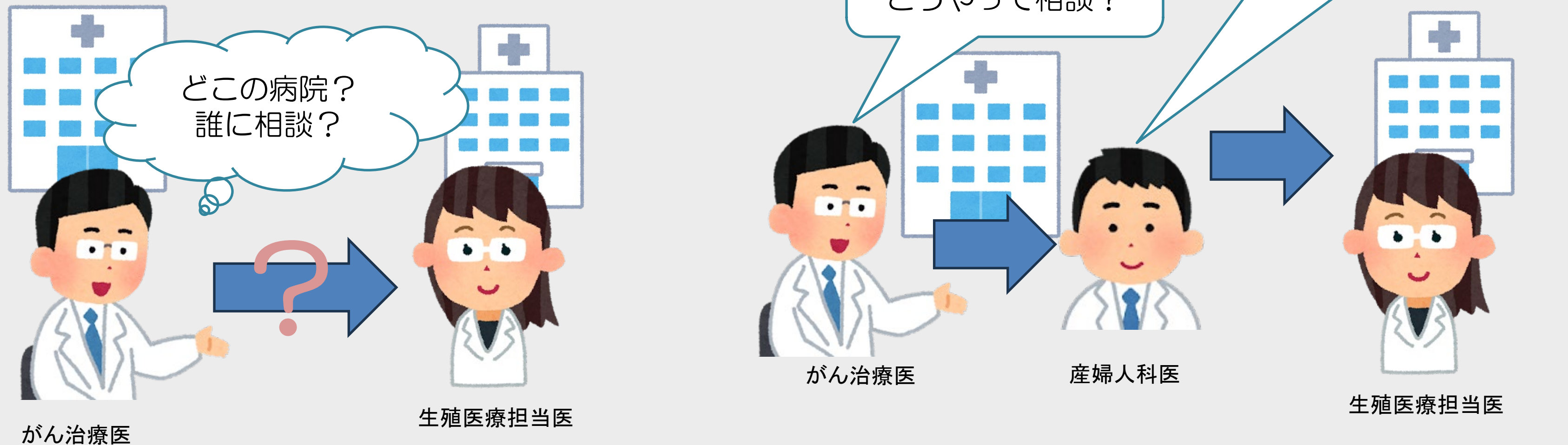
関連病院の先生方に対して
「がん・生殖医療相談外来」の紹介

04

今後の課題と取り組み

愛知県の現在の課題

- ✓ 他県在住患者の受け入れ…県を超えた連携の拡充が必要
 - 卵巣組織凍結
 - 当院で原疾患治療を行う他県在住の患者
- 東海北陸若手がん・生殖医療セミナー（**顔の見える関係**）を活用
- **他診療科・多職種**との連携
- **生殖医療を専門としない**産婦人科医の協力



愛知県の現在の課題

✓ 名古屋市とその他の市町村での助成制度の違い

治療内容と助成上限額		
治療内容と助成上限額		
治療	助成額	助成上限額
未受精卵子凍結	治療にかかった費用（入院代、食事代、凍結維持にかかる費用等は除く。）から、愛知県より助成された金額を引いた額	100,000円
精子凍結	治療にかかった費用（入院代、食事代、凍結維持にかかる費用等は除く。）から、愛知県より助成された金額を引いた額	25,000円
意思決定支援	費用の2分の1	7,150円

名古屋市HPより

✓ 愛知県東部の妊孕性温存療法実施機関が不足

✓ がん・生殖医療を必要とする患者全体のうち、どれくらいの患者が必要な情報を提供されているか全貌が不明

当院の現在の課題

- ✓ 妊孕性温存療法を選択しなかった場合、選択できなかった場合
 - 心理支援…全症例に対して心理士が介入できる訳ではない
 - がん治療後の妊孕性の評価…定期的な通院が途絶える可能性が高い
- ✓ 妊孕性温存が難しい、希望しない場合
 - 「話だけでも聞きたい」
 - 「話だけでも聞いてほしい」

治療内容と助成上限額

治療内容と助成上限額		
治療	助成額	助成上限額
未受精卵子凍結	治療にかかった費用（入院代、食事代、凍結維持にかかる費用等は除く。）から、愛知県より助成された金額を引いた額	100,000円
精子凍結	治療にかかった費用（入院代、食事代、凍結維持にかかる費用等は除く。）から、愛知県より助成された金額を引いた額	25,000円
意思決定支援	費用の2分の1	7,150円

妊孕性温存実施の有無によらない、意思決定支援に対する費用助成



意思決定支援外来受診のハードルが低くなる

名古屋市HPより

当院の現在の課題

✓ 男児患者への対応

- がん・生殖医療に携わる男性スタッフが不足
- 学会の動画資料の活用

✓ 卵巣組織凍結のための転院

- チャイルドライフスペシャリストによるサポート
- 遠方からの通院・転院の負担…Web面談などの必要性

✓ 長期におよぶ検体の管理

- 凍結保存延長手続きのため年1回の受診を必要としているが、中断されている例が多い（特に精子凍結）
- 期限までに受診・電話連絡がなかった場合には、「当院から連絡をすることなく廃棄する」旨を同意書に記載

結 語

- ✓ がん・生殖医療をめぐって、地方都市ならではの課題がある。
- ✓ 県内、県外問わず、多職種を含めた連携を強化していきたい。

謝 辞

名古屋大学医学部附属病院

産婦人科

名古屋大学医系研究科

産婦人科学

愛知県がん・生殖医療ネットワーク(

SOFIA)

東海北陸若手がん・生殖セミナー

発表の機会をいただき深謝申し上げます。

ご清聴 ありがとうございます